

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

14年産オランダ産百合球根在庫表送付にあたり

兼12月期オランダ出張報告（簡易バージョン）

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

在庫表について

流通量の少なかった品種が少しずつ追加で確保されつつあります。

O.H/O.Tは、作が良い様です。

ソルボンヌ/シベリア標準球だけではなく、一部品種で価格が下がり始めています。

ご確認ください。

A.H/L.Aについては、本日セダ S-ES12/14、デジール14/16・16/18の欠品報告を行います。

ご迷惑をお掛けします。よろしくご確認ください。

欠品対策在庫を作りました。（黄色中心）

合わせてご確認ください。

①当社在庫表に球数が示してある品種/在庫球数につきましては、新規ご注文でも、1EURO=¥139.5にて計算します。

②欠品対策の為の取引は、当社在庫表に載っていない品種を新規にオランダ業者から仕入れても、1EURO=¥139.5にて、原価計算いたします。

③新規のご注文で、当社在庫表の球数が示されていない品種をオランダから購入する場合のみ1EURO=¥142.5にて計算させていただきます。（為替確保作業が完全に終了していない為。）

オランダ出張報告

暖かい（12月になっても…）。

作業はものすごく進んでおります。（集中してしまっ、輸出業社は困惑しています。処理能力の少ない会社は大変…。）

上記した様に掘り取り遅れは解消しましたが、選別作業/輸出仕上げ作業が集中していることはやや心配。

各社のパッキング作業は、今まで「？」が付いていた会社が、3軒ほどありましたが、内2軒は改善していたと思います。

まずまずと「評価」していた輸出業社との、その部分での差は、詰まってくるのではないのでしょうか？

O.H/O.Tを中心に球根が太りすぎています。

太りすぎの球根は…13年産とは真逆です…。輸付きはどうかと思いますか？

私は、太りすぎの年には輸付きは減る、と思います。
10月/11月暖かくて、雨が少なかった為、球根は太り続けました。

十分な低温積算がされていないのに、球根内の芽が大きくなりすぎている為、冷蔵温度を下げるのが人間の心理ですが、下げるとどうなるのでしょうか？（国産球の冷蔵スケジュールを組んでいる方は…分かりますよね！）

後期発症型冷蔵障害が出なければ良いが…と心配します。

農家/輸出会社レベルで、「パッキングされていない状態」での保管期間を長めにとる様です。

球根の呼吸活動が少なくなるのを待って、落ち着いてから次の処理工程に移す…。

我慢が勝負。パッキングされない期間の品質管理（主に十二分な酸素供給！）がものすごく重要な年となっている様です。

逆に言うと、酸欠型ブラックローズが心配されるという事です。

不思議なもので、ルボンヌ/シベリアは、球根価格が下がれば、中国/その他市場が大量に注文して、底値を付いた感じがしますが、新しい品種（3~4年前まで流通が少なかった品種でやや量が増えた品種。ロシア市場で人気のあった品種 etc.）「価格が下がっても動かない」という品種が多数出てくる様です。

そんなわけで…

遅い取引では品質管理が難しい年となると思いますので、世の中とは逆行しているかもしれませんが、皆様からご注文を頂く前にある程度「在庫を作る」仕入を行いました。

*品質の安定化を図る為です。（為替管理の都合も…。）

*Plamv は…まだ「大きな前進」は確認できませんでした。一步一步です。

球根農家レベルでの損失額は、

L.A系 50ha 経営規模で、約7万5千~70万 EURO。

O.H/O.T系 50~100ha 経営規模で、約15万~300万 EURO。

} 損失額が大きくて、生き残った人の回復は早い…。

新規で発生している品質管理費用/検査費用だけで、球根生産原価が約7~10%くらい上昇しているとの事。

それだけ経費が増加しても、球根販売単価が上向かないオランダ球根農家や輸出会社が、モチベーションを切らさないで球根を作り続けてくれることを願っています。

経費をかけてくれている農家の球根を高く買ってやりたい…だって球根は原材料なのだから！

よろしく願い致します。



<http://www.lily-promotion.jp/>
私共はLPIJの趣旨に賛同し
協力・応援しています

以上
森山 隆